

令和元年度 第4回 青森支部評議会の概要報告

開催日時	令和元年12月4日（水）10：00～11：50
開催場所	全国健康保険協会青森支部 会議室
出席評議員	大坂評議員、小山田評議員、木村評議員、白川評議員、高杉評議員、藤沼評議員、安田評議員（五十音順）
議題	- 令和2年度保険料率について（支部評議会における主な意見） - 令和元年度青森支部事業計画の上期の進捗状況について - 令和2年度全国健康保険協会事業計画（案）について - その他の報告事項 - インセンティブ制度に係る平成30年度実績確定値について - 医療費及び健診データの地域別分析について
議事概要 （主な意見等）	議題1について、事務局より資料に基づき説明。 ●令和2年度保険料率について 【学識経験者】 引き下げるべきという支部が6支部から2支部に減っている。昨年、引き下げるべきと意見した6支部はどこか。また、意見が変わった4支部はどのような状況変化を捉えて意見が変わったのか。 （事務局） 現時点では各支部の評議会意見の分析までは至っておりませんので、次回の評議会でご報告させていただきます。 【事業主代表】 中長期的に考えるということであれば、それにふさわしい準備金の在り方について具体的な上限の目安や下限の妥当性を示すことが必要ではないか。 支部評議会の意見を見ると、財政収支が悪化する可能性が高いと見て10%を維持すべきという現実派と、健康保険は短期給付であり受益者負担が原則なので可能な場合は引き下げるべきという原則派の大きく2つの考え方に分かれていると受け止めている。 準備金の在り方など具体的に整理すべきポイントがあるから全国的に支部の意見が分かれていたり昨年から意見が変わった支部があるのではないか。

【学識経験者】

愛知支部の事業主代表の意見として「9.8%に引き下げて様子を見る」とあるが、引き下げるべきと意見した2支部は具体的な数値を示しているのか。

(事務局)

佐賀支部は事業主代表から9.5%と具体的な数値が示しています。兵庫支部は具体的な数値は示していません。

議題2について、事務局より資料に基づき説明。

●令和元年度青森支部事業計画の上期の進捗状況について

【事業主代表】

債権全体の回収率について平成31年3月から4月にかけて大幅に低下しているのはなぜか。

(事務局)

年度替わりの影響です。年度当初は回収率の分子となる回収金のリセットされるため低下します。

【学識経験者】

青森支部全体を見渡したときに問題と認識している項目や気になっている項目はあるか。また、問題と認識している項目があればその分析はしているか。

(事務局)

基盤的保険者機能関係の中ではレセプト点検の査定率がKPIに届いていない部分がありますが、全国的な傾向は進捗が良くないなかで青森支部は良い方なので特に問題視はしていません。

戦略的保険者機能関係の中ではインセンティブ制度に係る平成30年度実績の結果で「特定健診等実施率の対前年度伸び率」「要治療者の医療機関受診率」が全国平均より低いという課題があります。勧奨しても行動変容していただけない県民性もありますが、今年度下期から来年度に向けて引き続き支部の課題であると考えております。

【被保険者代表】

資格喪失後受診に係る返納金は次に加入した国民健康保険との調整ができるのか。

(事務局)

資格喪失後に国保加入が判明した方はご本人にご負担をかけることなく協会と国保で直接やり取りをする「保険者間調整」ができますので積極的な案内をきめ細かく実施しております。

【被保険者代表】

協会が実施するオンライン資格確認のところで国においてマイナンバーカードを活用した対応を予定していると説明されたがどのような内容か。マイナンバーカードを常時携帯するのは不安である。

(事務局)

令和3年3月からマイナンバーカードを健康保険証として利用できるようになる予定ですが、現在の保険証も引き続き使用できます。マイナンバーカードを利用することによって健康保険が変わっても自分の健康情報をオンライン上で一元管理できることや、資格喪失後受診による返納金が少なくなるというメリット等があり国では全国の医療機関で早期かつ円滑に対応ができるように取組を進めています。

議題3、4について、事務局より資料に基づき説明。

●インセンティブ制度に係る平成30年度実績確定値について

【学識経験者】

速報値の算出に誤りがあったと説明されたが確定値とは何が違っていたのか。

(事務局)

指標4の要治療者の医療機関受診率はレセプトの抽出月が9か月分から12か月分となっています。指標3の特定保健指導対象者の減少率は速報値の算出において一部誤りがありました。

【事業主代表】

指標4の要治療者の医療機関受診率は実績が良い福井支部と佐賀支部に直接聞いてみてはどうか。青森支部の受診率を上げるヒントがあるのではないかな。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり実績が良い支部に個別に聞いてどのような取組をしているのか把握したうえで次年度の事業計画策定を進めてまいります。

●医療費及び健診データの地域別分析について

【被保険者代表】

分析資料にある「血清クレアチニン」「eGFR」とは何の病気に関連した検査項目なのか。

(事務局)

この2つの検査項目は、腎不全、糖尿病性腎症、慢性腎臓病などの腎機能の低下により生じる病気を評価するものです。次回以降の評議会において資料を提出する場合は表記を改めてまいります。

【事業主代表】

下北地域における外来受診率が低いことは、受診したくても病院が近くにないことや、病院の数が少ないことが関係しているのではないかな。

【学識経験者】

下北地域に見られるような地域的な特性を踏まえた課題について、どのように支部の事業計画に組み

込んでいくのか。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。まずは分析結果をホームページに公開して各市町村の方がご覧いただけるようにいたします。地域の課題に対する取組は自治体と連携して進めることが一番だと考えております。また、本日のご意見を踏まえて次回の評議会において青森支部の事業計画案をお示しさせていただきます。

以上

特 記 事 項

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 傍聴者 東奥日報社、デーリー東北新聞社・ 次回は1月14日に開催予定 |
|---|